

水銀大気排出インベントリー（2014 年度対象）

分類	項目		大気排出量 (ton-Hg/年) <sup>1</sup>		
			2010FY	2014FY	小計変化
条約附属書 D 対象	石炭火力発電所		0.83~1.0	1.3	9~14 →14
	産業用石炭燃焼ボイラー		0.21	0.24	
	非鉄金属製造施設		0.94	1.4	
	廃棄物焼却施設	一般廃棄物焼却施設	1.3~1.9	1.5	
		産業廃棄物焼却施設	0.73~4.1	2.5	
		下水汚泥焼却施設 <sup>2</sup>	0.17~0.85	1.4	
セメント製造施設		5.3	5.5		
条約附属書 D 対象外	鉄鋼製造施設	一次製鉄施設	4.1	2.0	4.9 →2.7
		二次製鉄施設	0.62	0.54	
	石油精製施設		0.1	0.1	
	石油・ガス生産施設		<0.001	0.00005	
	石油等の燃焼	石油火力発電施設	0.01	0.01	
		LNG 火力発電所	0.001	0.002	
		産業用ボイラー(石油系)	0.003	0.002	
		産業ボイラー (ガス系)	0.02	0.0006	
	生産プロセスに水銀または水銀化合物を使用する施設 <sup>3</sup>	塩素アルカリ製造施設	N.O.	N.O.	
		塩化ビニルモノマー製造施設	N.O.	N.O.	
		ポリウレタン製造施設	N.O.	N.O.	
		ナトリウムメチラード製造施設	N.O.	N.O.	
		アセトアルデヒド製造施設	N.O.	N.O.	
		ビニルアセテート製造施設	N.O.	N.O.	
	水銀使用製品製造施設	バッテリー製造施設 <sup>4</sup>	0	0	
		水銀スイッチ製造施設	N.E.	N.E.	
		水銀リレー製造施設	N.E.	N.E.	
		ランプ類製造施設 <sup>5</sup>	0.01	0.005	
		石鹸及び化粧品製造施設	N.O.	N.O.	
		殺虫剤及び殺生物剤 (農薬) 製造	N.O.	N.O.	
		水銀血圧計製造施設	N.E.	N.E.	
		水銀体温計製造施設	N.E.	N.O.	
		歯科用水銀アマルガム製造施設	0.0004	N.O.	
		チメロサール製造施設	N.E.	N.E.	
		銀朱製造施設	N.E.	N.E.	
	その他 <sup>6</sup>	石灰製品製造	1.0	< 0.22	
		パルプ・製紙 (黒液)	0.23	< 0.041	
カーボンブラック製造		0.11	0.09		
蛍光灯回収・破砕		0.000005~ 0.000006	0.000003		
火葬		0.07	0.07		
運輸 <sup>7</sup>		0.07	0.06		
廃棄物の中間処理施設 <sup>8</sup>		N.E.	N.E.		
水銀回収施設 (焙焼炉を除く)	N.E.	N.E.			
自然由来	火山	>1.4	> 1.4	>1.4	
合計					19~24 (17~22) →18 (17)
※ ( ) は自然由来を除いたもの					

注：活動量等の情報収集にあたっては、原則として 2014 年度（2014 年 4 月～2015 年 3 月）のデータを使用している。2014 年度のデータがない場合には 2014 暦年のデータを使用している。また、2014 年のデータが無い場合には、2013 年以前の最新年度のデータを使用している。

- 1 N.E.は Not Estimated(排出源の有無が不明又は排出源は存在するものの未推計)、N.O.は Not Occurring(排出源が存在しない)を意味する。
- 2 国内法においては廃棄物焼却施設に該当しないものがあるが、廃棄物焼却施設として取り扱う。
- 3 我が国における全ての当該施設では既に水銀は用いられていない。
- 4 我が国ではボタン型電池のみ製造に水銀が用いられているが、製造プロセス上大気へ水銀を排出しない装置を使用しているため 0 とした。
- 5 一般蛍光灯ランプ、バックライト、HID ランプを含む。
- 6 過去の政府間交渉で取り上げられていないが、水銀の大気排出に蓋然性がある発生源
- 7 対象はガソリン及び軽油の燃料消費 (営業用)。
- 8 廃棄物焼却処理を除く。